

## はじめに

今後とも、少子・高齢化と人口減少が同時に進行すると見込まれる中で、「団塊の世代」の方々が平成 24 年から高齢者世代に加わることから、高齢者の生活様式や考え方、価値観が更に多様化することなどが見込まれます。

このような状況の下で、地域社会を維持し、活力あるものとするためには、元気な高齢者が、高齢社会を支える貴重な人材として活躍していただくことが求められますが、地域活動に意欲を持つ高齢者から見ると、情報やきっかけが少ないために、活動する場を得にくい状況にあります。

このようなことから、県では、高齢者がその能力をできるだけ発揮し、生きがいを持ちつつ生活への意欲を高めていくことのできるような環境づくりを目的として、平成 20 年度から「元気高齢者チャレンジ推進事業」を実施し、高齢者を中心とした地域貢献活動団体の取組を支援し、高齢者の社会参加の促進に努めております。

この事業の一環として、県が「高齢者を中心とした地域貢献活動団体」を募集し、県内の各地域振興局・支庁から選ばれた 7 つの団体の表彰式・事例発表会を、県社会福祉協議会と県との共催で、昨年 10 月 27 日にかごしま県民交流センターで開催しました。

事例発表会では、地域おこしや様々なボランティア活動で地域社会に多大な貢献をされている 7 つの団体が活動状況を紹介されるとともに、かごしま女性政策研究会副代表の大原夕ツ子氏の「高齢期をいきいきと」～一人ひとりが主役のまちづくり～と題した基調講演があり、多くの参加者から「大変参考になった」との高い評価をいただいたところです。

このたび、今回表彰された 7 団体と県地域振興局から推薦のあった 1 団体の活動状況に併せて、基調講演の内容を取りまとめましたので、皆様の今後の活動の際の参考にしていただければ幸いです。

最後に、当事業にご応募いただきました各団体の皆様をはじめ、表彰式・事例発表会の開催に当たりご協力を賜りました関係機関・団体の皆様方に厚くお礼申し上げます。

平成 24 年 2 月

社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会